



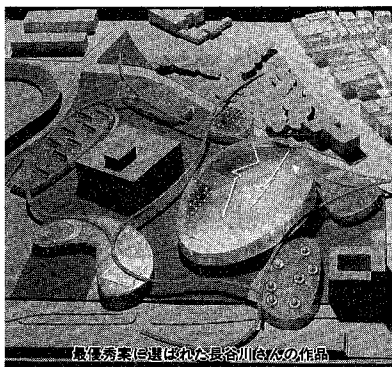
優秀賞以上の16人一人ひとりに賞状と記念品を贈る長谷川市長

児童が描く未来の新潟 「21世紀の私のまち」に593作品

市では、第四次総合計画の策定に向けて、小学生にまちづくりに関心を持ってもらうこととして、「21世紀の私のまち」をテーマに絵画を募集してまいりました。その入賞作品三十二点が選ばれ、表彰式が三月二十四日に行われました。式では、一人ひとりに賞状と記念品が贈られ、長谷川市長は「将来の新潟市を、皆さんが描いたように素晴らしいまちにしたい」とあいさつしました。優秀賞以上の受賞者は次のとおりです。 ※受賞作品は十二日から二十日まで、本館一階市民ロビーで展示します。

市民文化会館公開提案競技

最優秀案には長谷川逸子さん



最優秀案(白)選ばれた長谷川逸子さんの作品

白山地区に建設する「仮称」市民文化会館とその周辺整備に関する公開提案競技の審査結果が、三月二十二日、審査員の建築家・黒川紀章さん、作曲家・團伊玖磨さん、長谷川市長の三人から発表され、最優秀には建築計画工房 株 主宰の長谷川逸子さんの作品が選ばれました。同競技は市民文化会館とその周辺整備に優れたアイデアを出してもらおうと、昨年の八月に募集を始めた。市長は「二十世紀のまち」に向けて、環境・文化と建築のかわりを追及した多数の提案を、全国各地から寄せた。審査員からは寄せられた三百十五点の中から選ばれた最優秀案一点を中心に、優秀二点、入選五点が紹介された。

3月定例会議

平成5年度予算など 36議案を可決し閉会

三月定例会議は、千七百億円を超える平成五年度一般会計予算など三十六議案を可決し、三月二十九日閉会しました。可決された主な議案は、一般会計、特別会計など総額二千八百八十四億円の予算と、石宮公園地下自転車駐車場や新食肉センターの供用開始に伴う条例の制定など、採択された陳情・請願は各二件、請願では、精神保健法の見直しと改正に向けての措置などを求める「精神障害者の社会復帰・福祉施設充実」に関する意見書の提出について、入歯の保険料の引き上げや診療報酬の改善を求める「保険」の第三項です。

最優秀案を作った長谷川さんは日本建築学会作品賞をはじめ数々の賞を受けて、久遠建築家で、神奈川県藤沢市の「湘南台文化センター」、東京都墨田区の「すみだ化学学習センター」などの作品を手掛けています。審査委員長は黒川さんからは「全体的にレベルが高いものが多かったが、今回の競りでは設計者のコンセプトに重点をおいて審査した」と評価のポイントについて説明。最優秀案に選ばれた長谷川さんの作品については、建物だけでなく空中庭園という形で緑を生かしている点、曲線や透明感のある外壁を用いることで建物と自然が共生している点などが最優秀作品につながったことを明らかにしました。



審査結果を発表する審査員 (左から 黒川さん、長谷川市長、園さん)

市民文化会館は 巨大なタマゴ

長谷川さんの設計案では市民文化会館を巨大なタマゴ型で提案。この中に音楽と自然が共生している点などが最優秀作品につながったことを明らかにしました。専用ホール、演劇ホール、能楽堂などを取り、屋上には庭園を設けています。園さんは「最優秀案は音響的に最も優れたステージと客席を持っている。観客・出演者それぞれの出入りしやすいように配慮しているほか、能舞台と音楽ホールの客の流れを分けたりもしている」と使い勝手のよい施設になるとの期待を述べました。また、同会館の周囲には階下駐車場を備えた七つの空中庭園を配置。歩行者デッキで白川公園からすぐそばまで立体的に結び、周辺との一体感をつくり出しています。

21世紀に向けた 文化活動の拠点に

同文化会館は今後二年間で提案に基づいて整備の基礎を築いていく。本計画をまとめ設計を行った、平成七年に工事着工、二十世紀の市民文化活動の拠点として、平成十年の完成を目指します。市民文化会館整備課へ

6日から 春の交通安全運動を実施

四月六日から十五日まで「気をくばれ!車のかけかから黄色い帽子」をスローガに、春の全国交通安全運動が実施されます。期間中の重点項目は、シートベルト着用の徹底、子どもと高齢者の交通事故防止、交通安全施設の点検整備促進の三点です。正しい交通ルールの実践とマナーの習慣化で、交通事故防止の徹底を図りましょう。

市報の文字を拡大

市報にいがたは、今週号から文字を大きくし、より読みやすくしました。今後ともご愛読ください。

市役所・市教育委員会 ☎228-1000 (代表) 野球場・テニスコートの申し込み...266-8111 園芸センター...286-1034 東保健所...243-5311 山田地区保健センター...286-4450 鳥屋野地区保健センター...285-2373 北地区保健センター...259-7332 西保健所...268-5171 西地区保健センター...262-3405 坂井輪地区保健センター...260-3255 休日診療(市医師会・県歯科医師会) 休日急患診療センター...228-2822 休日歯科診療センター...283-3030

小品盆栽講座 4月10日午後1時半~3時半 園芸センター 小品盆栽の植え替え 先着50人 申し込み きょう4日から電話で会場へ

太夫浜墓苑 墓域の貸付を開始 松の線に囲まれた墓地公園として、市民に親しまれている太夫浜墓苑では、4月20日から貸付申込を再開します。増設した墓域数と永代使用料は次のとおりです。 4㎡...827基、36万円 6㎡...140基、58万円 ※詳しくは来週の本紙に折り込み 問い合わせ 市開発公社(☎223-2612)へ

鳥屋野総合体育館 屋内プール利用中止 4月10日午前10時正午は水泳競技指導講習会のため、一般利用を中止します。なお、正午から翌日まであり利用できます。 問い合わせ 同館(☎241-4600)へ

常設展「新収蔵品を中心に」から 今週の一点② 一九二二年に福岡で生誕、グループ展などで精力的な活動を重ねました。なまれた寺田政明は、個展の活動を重ねました。 寺田政明(1912-89) 「灯の中の相談」1950 この作品は4月18日まで同館で展示中 かも第二次世界大戦中に、松本峻介らと新面会を結成し、自由な精神活動を存続させようとしたことは、彼の芸術の良心を示す出来事です。 写真の作品は、食物の分け前をめぐる談合する二匹の犬。生命現象の不思議を凝視し、鋭敏な精神が感応して描かれた動物や風景画などの寺田作品群の中で直接的な風刺を感じさせる格別の一点です。この制作年の六月には、朝鮮戦争が勃(はつ)発し(ま)して(い)ま(し)た。(市美術館)